

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

北薩教育事務所便り

平成29年度 第2号 6月30日発行

所在地：薩摩川内市隈之城町228-1

☎：0996-20-8772

FAX：0996-25-3095

釣りと授業



指導課長 堀口 俊雄

コンクリートの程よい冷たさと心地よい風を感じながら、星空を眺める。何も考えずに時間が過ぎていく。正に至福の時間が流れ、眠気にも誘われる。

空き缶が倒れ、「じいっ、じいっ、じいっ」、「じいー、じいー」…。

音に反応して、素早く跳び起き、時計を確認する。50~60秒待って、用心深く糸を引っ張る。「よしっ」リールを締め、二股ロケットをハリスに通し、いよいよロケットを落とし込む。私にとって、最も期待が膨らむ瞬間だ。「シュルルルー、…、ガクン」、「かかったぞ」竿を立て、ゆっくりゆっくり巻き上げる。海面を照らすと、茶色っぽい白色の獲物が滑るようにやってくる。

「たも」を入れ、掬い上げると、勢いよく真っ黒い墨を吐き出す。除け損ねて頭から浴びてしまったが、釣り上げた喜びが勝る。台所で、わたを出し、薄皮を剥ぎ、白い宝石の身は、甘くするために冷凍庫へ。口の周辺はぬめりがあるので、塩もみしてバター炒めに。そして、まだ吸い付く吸盤は、刺身醤油で即いただくのが私の定番。

種子島に勤務していた当時の、私のリフレッシュタイム。小中交流で、中学校に勤務し、生徒に釣りの手ほどきを受けた、現在進行形の私の趣味だ。

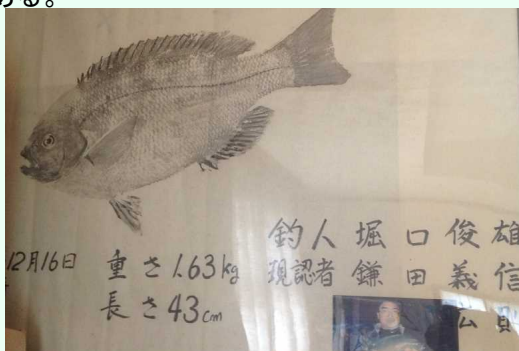
水いか釣り以外の磯釣りでは、餌、針の大きさ、ハリスの太さ、ウキの種類などと、海の状況把握、そして何よりこれまでの経験が、釣果につながる。こじつけかもしれないが、実態を把握しつつ経験に照らし合わせて方略を練るところが、授業と通じるところである。

皆さんの趣味は何ですか？そして、その趣味を楽しんでいますか？



自分で釣ったメジナの2枚おろし（喜界島H28）

（釣→
種
子
島
H
12）
の
魚
拓



不登校対策の一層の充実を

本地区では、5月末日現在、60人の児童生徒が不登校による欠席30日以上状況にあります。不登校状態の解消に向けて、また、新たな不登校児童生徒を出さないために、学校全体の指導体制の充実を図ることが大切です。

■不登校の未然防止への取組■

【児童生徒にとって居心地のよい学校を目指して】

- 児童生徒に感じさせたいこと
 - ・ 学級が楽しい！
 - ・ 居場所がある！
 - ・ 大切にされている！
 - ・ 夢がある！
 - 意図的に行う雰囲気づくり、人間関係づくり
 - ・ 構成的グループエンカウンター
 - ・ ソーシャルスキルトレーニング
 - ・ ピア・サポートプログラム
- ※ このような取組を、単発でなく、年間を通して計画的に取り組みむことが必要です。

「不登校の児童生徒にとって居心地のよい学校」は「全ての児童生徒にとっても居心地のよい学校」になるという視点から、不登校の未然防止の基盤をしっかり作っていくことが求められています。

■全校体制での取組（チーム学校）■

【組織的かつ保護者や関係機関と連携しながら】

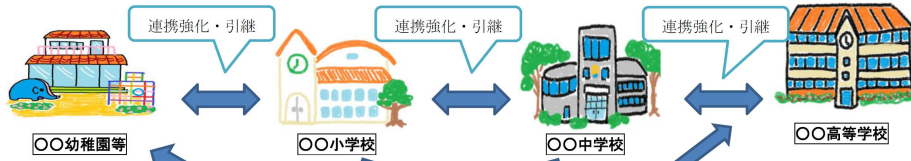
- 初期対応
 - ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との迅速な連携
- 要因の分析と共有
 - ・ 要因の見極め（アセスメント）
 - ・ 全職員による共通理解等
- 長期・短期の目標設定と具体的な手立て
 - ・ 誰が ・ どんな手立てを ・ いつまでに

「学校楽しいーと」の活用を！！（県総合教育センター）

「学校楽しいーと」は、「友達との関係」「教師との関係」等、6つの観点から児童生徒の学校適応感の変容を比較して把握できる上、友達との関係を高めるための具体的な手立て等も示されています。児童生徒の小さな変化を見逃さないために、全ての学校での積極的な活用をお願いします。

特別支援教育学校間連携支援事業

○学校間連携コーディネーターの配置



【学校間連携コーディネーターの配置】

- ・ 計画訪問による学校間での連携に関する相談対応、情報提供、助言
- ・ 移行支援シートの活用事例などの収集及びデータベース化
- ・ 中・高情報交換会への参加
- ・ 連絡協議会への出席

【学校間連携コーディネーター】
※4つの教育事務所へ配置（各1人）

【移行支援シートの活用促進】

- 移行支援シートの印刷・配布
- 研修会等での周知

【事業目的】

特別な支援が必要な児童生徒に対する就学前から卒業までの一貫した支援の充実を図るために行います。

【事業内容】

学校間連携コーディネーターを配置し、学校間の引継ぎに関する状況や課題についての情報収集を行うとともに、移行支援シートの活用や学校間連携に関する助言を行います。

【北薩地区での活動】

平屋学校間連携コーディネーターが、9月までの前期には22校を計画訪問し、移行支援シートの活用等についての助言を行います。

その他、合理的配慮の提供に関する相談や特別支援教育全般に関する相談、校内研修の講師など、市町教育委員会を通じて、何でも気軽に御相談ください。

子供たちの安全を確保するために

6月24日(土)阿久根市総合体育館にて、64人の参加をいただきスクールガード・防犯ボランティア等研修会を実施しました。

地区内においても、平成28年には38件の声掛け事案が発生しており、今年も5月末時点で17件発生しています。学校においては、危機意識を持ち、PTAや防犯ボランティアの皆様と連携し、更なる安心安全な体制づくりに努めていただきたいと考えます。



交通誘導訓練



不審者対応訓練

また、今年度すでに児童生徒の交通事故が3件発生しています。いずれも自転車乗車中の飛び出しが主な原因となっています。夏休みを前に、次の点について繰り返し指導をお願いします。

自分の命を守るために

- 「いかのおすし」の徹底！
- 道路を渡る時は一旦止まって左右の確認！
- 自転車乗車時はヘルメット着用！

合同計画訪問

市町教育委員会との合同計画訪問を実施中です。

どの学校でも、北薩の授業づくり3ポイントを意識した授業が実践されていました。また、学力や体力の向上に向けて各学校で時間設定をするなど、独自に工夫した取組がなされていました。



江内小(体育)
タブレットの活用

今年度は小学校23校、中学校8校の合同計画訪問を予定しています。



城上小(道徳)
発表ボードの活用

【8月は不祥事防止強化月間です！】

私たち学校職員は、教育に携わる者として児童生徒の模範となるように、服務規律の厳正確保に努めなければなりません。

1 飲酒運転の根絶、交通事故・違反等の防止

日頃から児童生徒に対して交通法令の遵守を指導している私たちが交通法令を破ることは言語道断です。

2 体罰の禁止

体罰は、学校職員による暴力であり、決して許される行為ではありません。児童生徒の心に届く指導を行うことが私たちの責任です。

3 わいせつ行為の根絶

学校職員が起こすわいせつ行為（公然わいせつ、強制わいせつ、盗撮等）により児童生徒、保護者が受ける心の傷の大きさは計り知れません。

4 セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等の防止

様々なハラスメントは、人としての人格や尊厳の侵害です。日々、児童生徒に「人の嫌がることはしてはいけない」と指導しているとおりです。

授業で実践!! ワンポイントアドバイス④

全体をみながら個をみる。

学級全体をみる。(集中しているか。興味を示しているか。話合いがしっかり行われているか等。)
一人一人をみる。(何か言いたいことがあるそうだ。心ここにあらずかな。つまずいていそうだな等。)
バランスが大事だ。

編集後記

北薩教育事務所では、ホームページを随時更新しています。事務所便りや事務所の重点施策をはじめ、合同計画訪問やフレッシュ研修などの様子などをお知らせしています。タイムリーな情報を掲載していきますので、こちらも是非御覧ください。

北薩教育事務所

検索